

★必須項目
☆選択項目

形態安定加工製品

	試験項目	判定基準	特例判定基準・対象品及び備考		
製 品 耐 洗 濯 性 検 査	★組成表示	家庭用品品質表示法 適正であること			
	★取扱表示	家庭用品品質表示法 適正であること			
	★サイズ表示	日本工業規格 適正であること			
	★原産国表示	不当景品類および不当表示防止法 適正であること			
	★外観・縫製	縫製検査標準規格 適合していること			
	★耐洗濯性(10回) (製品で実施) JIS-L-1930 C4M ネット使用は表示による	外観	風合い・外観変化が少ないこと	<p>・布帛(綿・セルロース系繊維製品およびそれらのポリエステル混紡品に適用)</p> <p>吊干しはC4M法を1サイクルとし繰り返し洗濯。測定判定は1回後、10回後に吊干し行う。各回の洗濯は必ず洗濯槽より取り出し、洗濯しわや形を整えてから次の洗濯を行う。</p> <p>タンブル乾燥はC4M法を1サイクルとする。測定・判定は1回後、10回後に行う。1回の洗濯毎にタンブル乾燥を行う。乾燥しわや形を整えてから次の洗濯を行う。</p> <p>尚、1回目で基準値に満たない場合、その時点で試験を中止する。</p>	
		縫製	異常のないこと		
		タンブル乾燥 吊干し (表示による)	衿回り		±1.0%
			その他		±1.5%
			変退色		1回目4級、10回目3級以上
		ブリード	4-5級 以上		
		W&W性	3.2級以上		
		パッカリング	衿・カフス・ボトム脇・尻縫い 3.5級以上 前立て・ポケット 3級以上		
	保形性	3級以上			
	★耐洗濯性(5回) (製品で実施) JIS-L-1930 C4M ネット使用は表示による	外観	風合い・外観変化が少ないこと	<p>・編物(綿・セルロース系繊維製品およびそれらのポリエステル混紡品に適用)</p> <p>吊干しはC4M法を1サイクルとし繰り返し洗濯。測定・判定は1回後、5回後に吊干し行う。各回の洗濯は必ず洗濯槽より取り出し、洗濯しわや形を整えてから次の洗濯を行う。</p> <p>タンブル乾燥はC4M法を1サイクルとする。測定判定は1回後、5回後に行う。1回の洗濯毎にタンブル乾燥を行う。乾燥しわや形を整えてから次の洗濯を行う。</p> <p>尚、1回目で基準値に満たない場合、その時点で試験を中止する。</p>	
		縫製	異常のないこと		
		タンブル乾燥 吊干し (表示による)	衿回り		±1.0%
			丈		-2~1%
			幅		-3~1%
		変退色	1回目4級、5回目3級以上		
ブリード		4-5級 以上			
W&W性		3.2級以上			
パッカリング	衿・ポケット・目立つ部位 3級以上				
保形性	3級以上				
安全	☆遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下 300 μg/g(ppm)以下	<p>・全色全パーツ(素材・副資材・付属品)が基準値以内であることを保障すること</p>		

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。